

第 26 期 定時株主総会 質疑応答の要約

当社株主総会における株主の皆さまからのご質問と、当社からの回答の要旨です。なお、理解促進のために一部内容の加筆修正を行っております。

(回答は、別途記載のない限り議長による)

Q1 第 27 期業績予想である当期純利益 10 億円の達成方法について確認したい。

第 26 期 当期純利益は 6.3 億円となっているが、EC BPO ビジネスの事業環境変化が起きているなかで、第 27 期に約 4 億円の増益を達成する道筋を教えてください。

A1 当期純利益の推移を見ると、前期（第 25 期）が 10.4 億円、当期（第 26 期）が 6.3 億円と 4 億円程度の減益となっているが、これは 2 つの一過性の要因があったためである。まず、前期に計上していた、持分法適用会社の持分譲渡に係る配当金 約 1.8 億円が剥落したこと。次に、当期は本社移転に絡み約 1.3 億円の特別損失を計上したこと。この 2 つの要因によるものを除くと、実質的な減益は 1 億円弱であった。

第 27 期においては、経常利益目標の 17 億円に法人税等を考慮した 10 億円と設定しており、当期純利益に大きな影響を及ぼすような営業外損益や特別損益等は想定していません。このため、当期純利益の達成については、営業利益目標を追求し、目指すものとなる。

本日で説明したとおり、当期はソリューション事業が前年比で売上高 +30.8%、営業利益 +18.8%と成長し、イービジネスサービス事業も、新規顧客の獲得など、業績回復施策を進めている。これらを着実に推進することで、第 27 期の営業利益目標である 17 億円を達成したいと考えている。